

顧問作品解説

透^すき影^{かげ}

被写体までの距離感は、写真の印象を大きく左右する。作者は、どちらかと言えば、「そっと見守る」距離感で撮ることが多い。だからなのか、どれも優しい視線が写真から感じられる。よく見るとなかなか味わいと優しさの溢れる写真だが、やはりやや弱い印象も否めない。勇気を持って相手の懐に飛び込んでいって「強い写真」も撮れるけど、あえてそれをしないという選択肢が自分にあるのかないのか。スクラップ&ビルドが成長につながる。変幻自在な距離感で撮れるように鍛えてもらいたい。

